

自動火災報知設備点検票					
名称				防火 管理者	
所在				立会者	印
点検種別	外観・機能・総合	点検年月日	年 月 日 ~ 年 月 日		
点検者	資格 番号	点検者 所属会社	社名 TEL		
	氏名 印		住所		
点検名 設備名	受信機	製造者名			
		型式等			
点検項目		点検結果			措置内容
		種別・容量等の内容	判定	不良内容	
外 観 点 検					
予備電源 非常電源 (内蔵型)	外形				
	表示				
受信機 ・ 中継器	周囲の状況				
	外形				
	警戒区域表示装置				
	電圧計		V		
	スイッチ類				
	表示				
	予備品等				
	設定表示温度等				
感知器	外形				
	警戒状況	未警戒部分			
		感知区域			
		適応性			
機能障害					
発信機	周囲の状況				
	外形				
標識	標識板	外形			
		常夜灯			
	表示灯				
音装 置	外形				
	取付状態				

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
 3 判定欄は、正常の場合は 印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 4 選択肢のある欄は、該当事項に 印を付すこと。
 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

		機能点検（自動試験機能を有しないもの）				
予備電源 （内蔵型）	端子電圧	V				
	切替装置					
	充電装置					
	結線接続					
受信機 ・ 中継器	スイッチ類					
	ヒューズ類	A				
	継電器					
	表示灯					
	通話装置					
	結線接続					
	接地					
	付属装置					
	火災表示等					
	注意表示					
	回路導通					
	設定表示温度等					
感知器作動試験						
感知器	熱感知器	スポット型	差動式			
			定温式			
			熱アナログ式			
		分布型	空気管式			
			熱電対式			
			熱半導体式			
	煙感知器	スポット型	感知線			
			イオン化式			
			光電式			
			イオン化アナログ式			
		分離型	光電アナログ式			
			光電式			
	器	遠隔試験機能を有しないもの	光電アナログ式			
			炎感知器			
			熱複合式			
			熱煙複合式			
煙複合式						
遠隔試験機能を有するもの						
発信機						
音響装置	音量等					
	鳴動方式	一斉区分相互				
蓄積機能						
二信号機能						

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
 3 判定欄は、正常の場合は 印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 4 選択肢のある欄は、該当事項に 印を付すこと。
 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
 6 多信号感知器にあっては、該当する欄にその旨を記入すること。
 7 自動試験機能を有するものにあっては、異常の発生状況、異常が発生した箇所の整備状況を記録した書類を添付すること。

機能点検（自動試験機能を有するもの）									
記録装置		V							
受信機・中継気	通話装置								
	接地								
	附属装置								
	設定表示温度等								
	感知器作動試験								
感知器									
発信器									
音響装置	音量等式								
	音鳴動方式		一斉区分相互						
総合点検（自動試験機能有しないもの）									
同時作動									
煙感知器等感度									
地区音響装置音圧									
総合作動									
総合点検（自動試験機能を有するもの）									
同時作動									
地区音響装置音圧									
備考									
測定機器	機器名	型式	校正年月日	製造者名	機器名	型式	校正年月日	製造者名	
	加熱試験器				マンメータ-				
	加煙試験器				空気注入試験器				
	外部試験器				メータリレー試験器				
	煙感知器用感度試験器				回路計				
	普通騒音計				絶縁抵抗計				
	減光フィルター				炎感知器用作動試験器				

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
 3 判定欄は、正常の場合は 印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 4 選択肢のある欄は、該当事項に 印を付すこと。
 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
 6 多信号感知器にあっては、該当する欄にその旨を記入すること。
 7 自動試験機能を有するものにあつては、異常の発生状況、異常が発生した箇所の整備状況を記録した書類を添付すること。